

## 文章の論理Ⅱ

科目責任者 菊池昌彦  
学年・学期 1学年・3学期

### I. 前文

作文技術の向上を通して医療従事者として必要な論理的思考や表現力、コミュニケーション能力を身に着ける。

### II. 担当教員

非常勤講師 菊池昌彦（元下野新聞主筆，元とちぎテレビ放送本部長）

### III. 一般学習目標

論理的な文章の展開，段落構成の方法を学ぶ。難しいことを咀嚼し平易な言葉に置き換え，誰もが理解できかつ説得力のある文書作成を目指す。講義を通して総合的なコミュニケーション能力の向上を図る。

### IV. 学修の到達目標

解説～作文演習～講評を繰り返し，伝えたいことを確実に文章化できるようにする。

### V. 授業計画及び方法 \*（ ）内はアクティブラーニングの番号と種類

（1：反転授業形式（事前学習用動画等の教材を前もって配付する。原則として授業中に事前学習の内容に関する小テストを行い知識の確認を行う。）

2：ディスカッション 3：グループワーク 4：実習 5：プレゼンテーション 6：その他）

回数	月	日	曜日	時限	講義テーマ	担当者	アクティブラーニング
1	11	17	水	3	プロログ・自己PR	菊池昌彦	
2		24	水	4	文章の基本1	菊池昌彦	
3	12	1	水	4	文章の基本2	菊池昌彦	
4		8	水	4	文章の基本3	菊池昌彦	
5		15	水	4	講義レポート1	菊池昌彦	
6	1	5	水	4	講義レポート2	菊池昌彦	
7		12	水	4	講義レポート3	菊池昌彦	

### VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

毎回の演習が試験。出席と進歩の度合いを総合して判定。

### VII. 教科書・参考図書・AV資料

毎回レジュメを配布。Bか2Bの鉛筆，シャープペンシルを用意。推薦書がある場合は講義日に提示。用字用語は記者ハンドブックが基本。

VIII. 質問への対応方法

講義日に対応。

医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置くDP    ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医 学 知 識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨 床 能 力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	◎
能 動 的 学 修 能 力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社 会 的 視 野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人 間 性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

作文は講評の上で講義日に返却。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

詳細についてはシラバス別冊に記載する。記載が無い場合、事後学習として授業の要点をまとめておくこと。（所要時間の目安30分）

（※所要時間の目安についてはシラバス別冊を参照する。）

XII. コアカリ記号・番号

コア・カリキュラム平成28年度改訂版（p17, 19, 20）

A-4 コミュニケーション能力

(A-4-1) コミュニケーション

学習目標

①コミュニケーションの方法と技能（言語と非言語）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。

(A-9-1) 生涯学習への準備

学習目標

①生涯学習の重要性を説明できる。